

平成24 (2012) 年

みずのえたつ

壬辰

本願寺のご歴代

本年、平成24年1月16日は、親鸞聖人七百五十回大遠忌に当たります。それ以来今日まで、本願寺は親鸞さまによつて教えられた、阿弥陀如来の大悲のみ教えを連綿と伝えてくださつております。そのご門主さま、お一人おひとり、我々門徒は「善知識ぜんちしき」と仰いで、お言葉に従つてまいりました。そのご門主さま方が、私たち門徒のために、ご苦労なされた道筋を、偲ばせていただきますと思います。

平成23年12月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1 旧11/7 大安	2 旧11/8 赤口	3 旧11/9 先勝 御正忌報恩講
4 旧11/10 友引 御正忌報恩講	5 旧11/11 先負	6 旧11/12 仏滅	7 旧11/13 大安 大雪	8 旧11/14 赤口 成道会	9 旧11/15 先勝	10 旧11/16 友引
11 旧11/17 先負 ふるさと探訪	12 旧11/18 仏滅	13 旧11/19 大安	14 旧11/20 赤口	15 旧11/21 先勝	16 旧11/22 友引 親鸞聖人月命日	17 旧11/23 先負
18 旧11/24 仏滅	19 旧11/25 大安	20 旧11/26 赤口	21 旧11/27 先勝 仏教講座	22 旧11/28 友引 冬至	23 旧11/29 先負 天皇誕生日	24 旧11/30 仏滅
25 旧12/1 赤口	26 旧12/2 先勝	27 旧12/3 友引	28 旧12/4 先負	29 旧12/5 仏滅	30 旧12/6 大安	31 旧12/7 赤口 大晦日 除夜会

社会福祉法人 醍醐福社会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

早山保育園

Tel 0877 (49) 0851 Fax 0877 (85) 5854

浄土真宗本願寺派

醍醐山 徳勝寺
願傾院

<http://www.daigo.or.jp/>

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だ い ご
(醍 醐)

Tel & Fax 0879 (43) 5772

平成23年12月

平成24 (2012) 年 1月

2月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	1	2	3

日 ① 旧12/8 先勝 元日 修正会	月 2 旧12/9 友引 振替休日	火 3 旧12/10 先負	水 4 旧12/11 仏滅	木 5 旧12/12 大安	金 6 旧12/13 赤口 小寒	土 7 旧12/14 先勝 七草
8 旧12/15 友引	9 旧12/16 先負 成人の日・本如上人忌	10 旧12/17 仏滅 仏教婦人会	11 旧12/18 大安 親鸞聖人750回大遠忌御正当	12 旧12/19 赤口 0回大遠忌御正当	13 旧12/20 先勝 (9~16日)	14 旧12/21 友引 仏教社年会
15 旧12/22 先負 小正月 ふるさと探訪	16 旧12/23 仏滅 親鸞聖人御正忌	17 旧12/24 大安	18 旧12/25 赤口 明如上人忌	19 旧12/26 先勝	20 旧12/27 友引	21 旧12/28 先負 大寒
22 旧12/29 仏滅	23 旧1/1 先勝 春節・旧正月	24 旧1/2 友引	25 旧1/3 先負 仏教講座	26 旧1/4 仏滅	27 旧1/5 大安	28 旧1/6 赤口
29 旧1/7 先勝	30 旧1/8 友引	31 旧1/9 先負	1	2	3	4

鉄瓶の静かなる音冬籠り
筑後投石

如信上人（本願寺第2世）
如信さまは、親鸞さまのご長男の善鸞さまのお子さまです。嘉禎元年（1235）京都でお生まれになり、20歳ころまで祖父にあたる親鸞さまから、直接に教えを受けられたと伝えられています。

建長5年（1253）、関東で教義上の問題によりご門徒衆に内紛が起こり、それを収めるために善鸞さまが派遣されました。それについて如信さまも関東に出かけられました。しかし、お父上の善鸞さまは内紛を押さえることができず、教義上の問題で親鸞さまから義絶されます。

如信さまは、それでも関東に残り、陸奥国大網（福島県古殿町）に草庵を建てて、布教活動にいそしみます。その草庵は、現在、願入寺として残っており、大きな門徒集団を形成して、大網門徒と呼ばれていました。

弘安3年（1280）、親鸞さまの末娘の覚信尼さまと、その子覚恵さまの依頼で、大谷廟堂の法灯を継ぎますが、寺務はお二人にゆだねられて、引き続き陸奥での布教を続けられます。

永仁2年（1299）、親鸞さまの報恩講のために京都に上りました。その時に、甥の覚如さまにご宗義を伝授なさいました。これによって、覚如さまは、後に本願寺第3世とおなりのになります。

このご上洛の帰りに、如信さまは常陸国上金沢（茨城県大子町）の太子堂にお入りになりご教化をなさいました。太子堂は、後に法龍寺となり、現在も存続しております。

このように如信さまは、京都でのご活躍は少ないのですが、関東を中心に、親鸞聖人のみ教えをお伝えくださり、正安2年1月4日（1288年2月2日）66歳で上金沢の太子堂で御遷化なさいました。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園
Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

早山保育園
Tel 0877 (49) 0851 Fax 0877 (85) 5854

浄土真宗本願寺派

醍醐山 徳勝寺
願傾院

http://www.daigo.or.jp/

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だ い ご
(醍 醐)

Tel & Fax 0879 (43) 5772

平成 24 (2012) 年

2月

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

3月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	1	2	3

娘のくれし絹の布団で脚伸ばす
市村繁子

覚如さまは、親鸞さまの末娘・覚信尼さまの子、覚恵さまのご長男として、文永7年12月28日(1271年2月16日)に京都でお生まれになります。つまり、親鸞さまの曾孫に当たります。幼くしてお母さまを亡くされ、5歳で仏門に入り、天台宗・法相宗・三論宗を学ばれたと伝えられます。

弘安10年(1287)、親鸞さまの祥月法要に上洛した如信さまから、詳しく法然さま親鸞さまの教えを学ばれ、さらに正応元年(1288)上洛した河和田の唯円さまから、親鸞さまの直接承けた教えを伝授されます。正応3年から、父覚恵さまと関東の親鸞さまのご遺跡を巡拝され、親鸞さまに直接遇っていたお弟子方から教えを承けられます。

永仁2年(1294)、親鸞聖人三十三回忌に『報恩講私記』を作られご執行になり、さらに翌年には『本願寺聖人伝絵』を作成されます。これらによって、現在の御正忌報恩講の様式が定まりました。

延慶2年(1309)、正式に大谷廟堂の留守識となり、応長元年(1311)親鸞聖人五十回忌に当たり、御真影と御影堂を再建されます。

元亨元年(1321)大谷廟堂を寺院とし、龜山天皇から「久遠実成阿弥陀本願寺」と下賜されたところから「本願寺」と名づけられました。この際、関東のお弟子たちといさかひがあり、長男の存覚さまを義絶され、存覚さまは木辺派の錦織寺を継ぐこととなります。

覚如さまは、その後も『執持鈔』『口伝鈔』『改邪鈔』などを撰述して教化に努められ、次男の從覚さまの子、善如さまに本願寺をお譲りになり、観応2年1月19日(1351年2月23日)82歳でご遷化になりました。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園
Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

早山保育園
Tel 0877 (49) 0851 Fax 0877 (85) 5854

浄土真宗本願寺派

醍醐山 徳勝寺
願傾院
http://www.daigo.or.jp/
Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だ い ご
(醍醐)
Tel & Fax 0879 (43) 5772

平成 24 (2012) 年 3月

2月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	1	2	3

4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	1 旧 2/9 仏滅	2 旧 2/10 大安	3 旧 2/11 赤口 ひな祭り
4 旧 2/12 先勝	5 旧 2/13 友引 啓蟄・実如上人忌	6 旧 2/14 先負 仏教婦人会	7 旧 2/15 仏滅 法然上人忌	8 旧 2/16 大安	9 旧 2/17 赤口	10 旧 2/18 先勝 仏教社年会
11 旧 2/19 友引 ふるさと探訪	12 旧 2/20 先負 お水取り	13 旧 2/21 仏滅	14 旧 2/22 大安	15 旧 2/23 赤口	16 旧 2/24 先勝	17 旧 2/25 友引 彼岸入り
18 旧 2/26 先負	19 旧 2/27 仏滅	20 旧 2/28 大安 春分の日 春季永代経・彼岸会	21 旧 2/29 赤口	22 旧 3/1 先負	23 旧 3/2 仏滅 彼岸明け	24 旧 3/3 大安
25 旧 3/4 赤口	26 旧 3/5 先勝	27 旧 3/6 友引	28 旧 3/7 先負 仏教講座	29 旧 3/8 仏滅	30 旧 3/9 大安	31 旧 3/10 赤口

霜予報 針物並べる 軒下に
寒川博吉

善如上人 (本願寺第4世)

善如さまは、正慶2年2月2日に京都でお生まれになりました。お父上は、覚如さまのお子さまの従覚さまでありました。

幼いころから、親鸞さまがお得度された青蓮院で天台の教えを学び、祖父の覚如さまや、叔父の存覚さまから浄土真宗の教えを授けられました。

観応元年(1350)、祖父の覚如さまから本願寺留守職を継承され、本願寺第4世となられます。

延文4年(1359)、叔父の存覚さまに『歎徳文』の再編を依頼し、報恩講での『嘆徳文』拝読が始まりました。

康応元年2月29日(1389年4月4日)、57歳の生涯を閉じられました。

綽如上人 (本願寺第5世)

綽如さまは、観応元年3月15日(1350年4月30日)、善如さまのお子さまとしてご誕生になりました。

明徳元年(1390)、本願寺第5世を継職し、まもなく寺務を第2子の巧如さまに委任し、越中・杉谷に草庵を結び隠居されます。

綽如さまは漢籍に明るく、明からの国書を読解し返答を書き、後小松天皇より「周圓上人」の号を賜われました。また、宮中で、『無量寿経』を講じられ、その恩賞として一寺建立の願いを聞かれ「勸進状」の作成を認められます。これにより井波の地に寺を建立し、「瑞泉寺」の勅号を賜わり、これより後は、瑞泉寺を拠点に教化にあたられました。

明徳4年4月24日(1393年6月12日)、44歳でお亡くなりになり、応永元年(1394)寺務を委任されていた巧如さまが継承されました。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園
Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

早山保育園
Tel 0877 (49) 0851 Fax 0877 (85) 5854

浄土真宗本願寺派

醍醐山 徳勝寺
願傾院
http://www.daigo.or.jp/
Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だいご
(醍醐)
Tel & Fax 0879 (43) 5772

平成 24 (2012) 年 4月

3月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

5月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

日	月	火	水	木	金	土
1 旧 3/11 先勝	2 旧 3/12 友引	3 旧 3/13 先負 浄如上人忌 仏教婦人会	4 旧 3/14 仏滅 清明・善如上人忌	5 旧 3/15 大安	6 旧 3/16 赤口 全国交通安全運動 (~15日)	7 旧 3/17 先勝
8 旧 3/18 友引 灌仏会・聖徳太子忌 ふるさと探訪	9 旧 3/19 先負	10 旧 3/20 仏滅	11 旧 3/21 大安	12 旧 3/22 赤口	13 旧 3/23 先勝	14 旧 3/24 友引 仏教社年会
15 旧 3/25 先負	16 旧 3/26 仏滅	17 旧 3/27 大安	18 旧 3/28 赤口	19 旧 3/29 先勝	20 旧 3/30 友引 穀雨	21 旧 閏 3/1 先負
22 旧 閏 3/2 仏滅	23 旧 閏 3/3 大安	24 旧 閏 3/4 赤口	25 旧 閏 3/5 先勝 仏教講座	26 旧 閏 3/6 友引	27 旧 閏 3/7 先負	28 旧 閏 3/8 仏滅
29 旧 閏 3/9 大安 昭和の日	30 旧 閏 3/10 赤口 振替休日	1	2	3	4	5

青田雨亡き友語る人ぞなき
櫻村博

巧如上人 (本願寺第6世)
 巧如さまは永和2年(1376)、本願寺第5世 綽如さまの第2子としてご誕生になられます。明徳元年(1390)、綽如さまは本願寺を継承されますが、北陸の教化のために、まもなく寺務を巧如さまに委任し、越中国杉谷に草庵を結びご隠居されます。明徳4年(1393)4月24日、お父上の綽如さまがお亡くなりになり、応永元年(1394)、本願寺住持職を継承されました。巧如さまは、とくに北陸への教化にご尽力されます。弟の屯円さまを越前の藤島(福井市)超勝寺に、4男の如乗さまを越中(富山県南砺市井波)の瑞泉寺に派遣され、北陸の教化が盛んになりました。

応永8年(1436)、長男の存如さまに職を譲られ、12年10月14日(1440年11月17日)、65歳でご遷化されます。

存如上人 (本願寺第7世)
 存如さまは、本願寺第6世 巧如さまの長男としてお生まれになります。

応永3年(1396)、本願寺第6世 巧如さまの願寺住持職を継承されます。

本願寺中興の祖として有名な蓮如さまのお父上であるだけでなく、弟は瑞泉寺の住持如乗さま、興福寺大乗院門跡の経覚さまは従兄弟に当たられます。

現在の本願寺に見られる御影堂・阿弥陀堂の両堂形式をはじめ整備され、皆さまがお読みになっているお正信偈や『三帖和讃』を重視し教化に用いるなど、それ以降の本願寺の基礎を固められました。

長祿元年6月18日(1457年7月18日)、62歳でお亡くなりになりました。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

早山保育園

Tel 0877 (49) 0851 Fax 0877 (85) 5854

浄土真宗本願寺派

醍醐山 徳勝寺
願傾院

<http://www.daigo.or.jp/>

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だ い ご
(醍 醐)

Tel & Fax 0879 (43) 5772

平成 24 (2012) 年 5月

4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5

6月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1 旧閏3/11 先負 八十八夜 仏教婦人会	2 旧閏3/12 友引	3 旧閏3/13 先負 憲法記念日	4 旧閏3/14 仏滅 みどりの日	5 旧閏3/15 大安 立夏・こどもの日
6 旧閏3/16 赤口	7 旧閏3/17 先勝	8 旧閏3/18 友引	9 旧閏3/19 先負	10 旧閏3/20 仏滅 愛鳥週間	11 旧閏3/21 大安 覚信忌	12 旧閏3/22 赤口 仏教社年会
13 旧閏3/23 先勝 母の日 ふるさと探訪	14 旧閏3/24 友引 蓮如上人忌	15 旧閏3/25 先負	16 旧閏3/26 仏滅	17 旧閏3/27 大安	18 旧閏3/28 赤口	19 旧閏3/29 先勝
20 旧閏3/30 友引	21 旧4/1 仏滅 小満 親鸞聖人降誕会	22 旧4/2 大安	23 旧4/3 赤口	24 旧4/4 先勝	25 旧4/5 友引	26 旧4/6 先負
27 旧4/7 仏滅	28 旧4/8 大安	29 旧4/9 赤口	30 旧4/10 先勝 仏教講座	31 旧4/11 友引	1	2

川風に枝垂れ柳は
縛れなく
佐々木嘉清

蓮如上人(本願寺第8世)
 應永22年2月25日(1415年4月13日)、京都東山の本願寺で、本願寺第7世存如さまの長子としてお生まれになります。
 永享3年(1431)、17歳で青蓮院において得度され、父存如さまの従兄弟の興福寺の経覚さまについてお勉強なさいました。お父上の存如さまと、文安4年(1447)関東を訪ね、宝徳元年(1449)には、北陸へ布教なさいました。
 長祿元年(1457)、本願寺第8代を継職されます。この頃の本願寺は、青蓮院の末寺となり、比叡山の弾圧により、大谷本願寺は破却され、蓮如さまは想像を奉じて近江の金森、堅田、大津を転々とされました。応仁3年(1469)、三井寺の庇護のもと、大津南別所(けんじょう寺)を建立、順如さまを住持として親鸞さまの御真影をご安置されます。
 文明3年(1471)、越前に吉崎御坊を建立すると、急速に発展し北陸地方のご門徒が雲集します。文明7年(1475)、吉崎を退去。文明10年(1478)、山科に坊舎の造営を開始し、文明15年(1483)、山科本願寺が落成します。
 延徳元年(1489)、75歳で、寺務を実如さまに譲られてご隠居なさいました。
 明応5年(1496)、大坂石山の地に石山御坊を建立し、隠居所とされますが、明応8年(1499)2月20日、死に際し山科本願寺にお帰りになり、3月25日(1499年5月14日)、85歳でおなくなりになりました。
 一代で本願寺を大きくされた蓮如さまは、『正信偈』を出版して広くご門徒の皆さまがお勤めできるようにされ、ご門徒からのご質問には、後に『御文章』となるお手紙によって懇切にお説きくださるなど、「中興の祖」と仰がれました。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園
Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

早山保育園
Tel 0877 (49) 0851 Fax 0877 (85) 5854

浄土真宗本願寺派

醍醐山 徳勝寺
願傾院

http://www.daigo.or.jp/

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だ い ご
(醍 醐)

Tel & Fax 0879 (43) 5772

平成 24 (2012) 年 6月

5月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1 <small>旧 4/12 先負</small>	2 <small>旧 4/13 仏滅</small>
3 <small>旧 4/14 大安</small>	4 <small>旧 4/15 赤口</small>	5 <small>旧 4/16 先勝 芒種 仏教婦人会</small>	6 <small>旧 4/17 友引</small>	7 <small>旧 4/18 先負</small>	8 <small>旧 4/19 仏滅</small>	9 <small>旧 4/20 大安 仏教社年会</small>
10 <small>旧 4/21 赤口 入梅 ふるさと探訪</small>	11 <small>旧 4/22 先勝</small>	12 <small>旧 4/23 友引 緯如上人忌</small>	13 <small>旧 4/24 先負</small>	14 <small>旧 4/25 仏滅 証如上人忌</small>	15 <small>旧 4/26 大安</small>	16 <small>旧 4/27 赤口 親鸞聖人月命日</small>
17 <small>旧 4/28 先勝 父の日</small>	18 <small>旧 4/29 友引</small>	19 <small>旧 4/30 先負</small>	20 <small>旧 5/1 大安</small>	21 <small>旧 5/2 赤口 夏至</small>	22 <small>旧 5/3 先勝</small>	23 <small>旧 5/4 友引</small>
24 <small>旧 5/5 先負 旧端午</small>	25 <small>旧 5/6 仏滅</small>	26 <small>旧 5/7 大安</small>	27 <small>旧 5/8 赤口 仏教講座</small>	28 <small>旧 5/9 先勝</small>	29 <small>旧 5/10 友引</small>	30 <small>旧 5/11 先負</small>

田水張る 讃岐平野の 逆さ富士
広瀬延枝

実如上人(本願寺第9世)
 長禄2年8月10日(1588年9月26日)、本願寺第8世蓮如さまの第8子(5男)としてご誕生になります。
 当時の本願寺は、比叡山からの弾圧により、京都を追われて琵琶湖周辺を転々となさっていた時でありました。比叡山からは、蓮如さまのご隠居と長子順如さまの廃嫡という条件が生まれ、実如さまに家督継承が強要されます。それによって延徳8年(1486)、蓮如さまの退隱にともない、本願寺第9世を継承されます。
 継承後も戦乱は続き、ことに加賀の一向一揆の際の管領細川政元の恩義に感じ、永正3年(1506)、細川政元の要請を受けて畠山義英討伐への協力に応じますが、畠山氏との関係が深かった摂津・河内の門徒が猛反発します。
 永正4年(1507)、政元の養子・澄之が政元を暗殺し、もう一人の養子・澄元と争うと、その争いに巻き込まれた実如さまは澄元により一時山科本願寺を追放され、近江堅田本福寺の明顕・明宗の協力によって堅田御坊へ逃れます。
 永正6年(1509)、山科本願寺にお帰りになります。この事態を苦慮した実如さまは、弟の蓮淳さまと、ご子息の円如さまと共に、北陸の門徒に対し一揆の禁止をはじめとする三か条の戒めを發布したり、本願寺の一族を一門衆(嫡男)と一家衆(次男以下)に分ける一門一家制を設けたり、宗門の規則を整備なさいます。
 大永元年(1521)、青蓮院脇門跡に任せられます。しかし、同年、ご子息の円如さまが急死され、お孫さまの証如さまが後継されます。
 実如さまは、大永5年2月2日(1525年3月5日)、68歳にて示寂され、証如さまが後継がれますが、幼いため、蓮淳さまが後見人として本願寺の寺務をお取りになりました。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園
Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

早山保育園
Tel 0877 (49) 0851 Fax 0877 (85) 5854

浄土真宗本願寺派

醍醐山 徳勝寺
願傾院

http://www.daigo.or.jp/

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だ い ご
(醍 醐)

Tel & Fax 0879 (43) 5772

平成 24 (2012) 年 7月

6月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

8月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

日	月	火	水	木	金	土
1 旧 5/12 仏滅 半夏生・山開き	2 旧 5/13 大安	3 旧 5/14 赤口 仏教婦人会	4 旧 5/15 先勝	5 旧 5/16 友引	6 旧 5/17 先負	7 旧 5/18 仏滅 七夕・小暑
8 旧 5/19 大安 ふるさと探訪	9 旧 5/20 赤口	10 旧 5/21 先勝	11 旧 5/22 友引	12 旧 5/23 先負	13 旧 5/24 仏滅 盆迎え火	14 旧 5/25 大安 仏教社年会
15 旧 5/26 赤口 盂蘭盆会 夏参り・盆会	16 旧 5/27 先勝 海の日・盆送り火 親鸞聖人月命日	17 旧 5/28 先負 祇園祭	18 旧 5/29 先負 存如上人忌	19 旧 6/1 赤口 土用入り	20 旧 6/2 先勝 湛如上人忌	21 旧 6/3 友引
22 旧 6/4 先負 大暑	23 旧 6/5 仏滅	24 旧 6/6 大安 地藏盆	25 旧 6/7 赤口 天神祭 仏教講座	26 旧 6/8 先勝	27 旧 6/9 友引	28 旧 6/10 先負
29 旧 6/11 仏滅	30 旧 6/12 大安	31 旧 6/13 赤口	1	2	3	4

梅雨晴れの庭で髪梳く
妣はなし
谷口幸子

証如上人(本願寺第10世)
 永正13年11月20日(1516年12月23日)、円如さまのご長子としてお生まれになります。
 大永5年(1525)、祖父である本願寺第9世実如さまのご逝去により、10歳で本願寺を継承されます。しかし、幼いため、実如さまの弟の蓮淳さまが後見なさいました。
 享祿4年(1531)、本願寺内部で対立が起こりますが、証如さまはこれを抑えて法主の指導力の強化に努められます。
 天文元年(1532)には、管領細川晴元は本願寺の実力を恐れ、京都の日蓮宗徒や六角定頼と手を組み、山科本願寺を焼き討ちします。これを「天文法華の乱」と言います。山科本願寺を追われた証如さまは、石山本願寺を教団の本拠地とされます。その後、晴元と和睦し、室町幕府とも親密な関係を築いて中央との関係修復に努め、本願寺の体制強化を進められました。
 天文15年(1546)には金沢に尾山御坊を築いて、門徒の組織を強化されますが、朝倉氏との対立もあり、証如さまの時代には必ずしも十分に達成されませんでした。
 天文18年(1549)、後奈良天皇より『三十六人家集』を下賜されました。これは後に、顕如さまの時代に、石山合戦の和議に尽くされた前関白近衛前久に贈ろうとしますが、「天下の宝物をみだりに遣り取りすべきでない」として辞退されたという代物で、現在も西本願寺に所蔵されている国宝です。
 また、証如さまの代に本願寺は、加賀一向一揆の調停という形で北陸地方の門徒衆への介入を深め、一揆などを治めるよう努められます。
 天文23年8月13日(1554年9月19日)、39歳でお亡くなりになります。本願寺は12歳の長子の顕如さまが継承されます。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園
Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

早山保育園
Tel 0877 (49) 0851 Fax 0877 (85) 5854

浄土真宗本願寺派

醍醐山 徳勝寺
願傾院
http://www.daigo.or.jp/
Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だ い ご
(醍 醐)
Tel & Fax 0879 (43) 5772

平成 24 (2012) 年 8月

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

9月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	1	2	3	4	5	6

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1 旧 6/14 先勝 八朔	2 旧 6/15 友引	3 旧 6/16 先負	4 旧 6/17 仏滅
5 旧 6/18 大安	6 旧 6/19 赤口	7 旧 6/20 先勝 立秋 仏教婦人会	8 旧 6/21 友引	9 旧 6/22 先負	10 旧 6/23 仏滅	11 旧 6/24 大安 仏教社年会
12 旧 6/25 赤口 ご誕生 ふるさと探訪	13 旧 6/26 先勝 月遅れ盆入り	14 旧 6/27 友引	15 旧 6/28 先負 月遅れ盆	16 旧 6/29 仏滅 大文字焼き 親鸞聖人月命日	17 旧 6/30 大安	18 旧 7/1 先勝
19 旧 7/2 友引	20 旧 7/3 先負	21 旧 7/4 仏滅	22 旧 7/5 大安 仏教講座	23 旧 7/6 赤口 処暑	24 旧 7/7 先勝 旧七夕	25 旧 7/8 友引
26 旧 7/9 先負	27 旧 7/10 仏滅	28 旧 7/11 大安	29 旧 7/12 赤口	30 旧 7/13 先勝	31 旧 7/14 友引	1

廃校の残る大樹に蟬骸むくろ

田中克己

顕如上人（本願寺第11世）

顕如さまは、天文12年1月7日（1543年2月20日）、本願寺第10世証如さまのこ長子として誕生されます。

顕如さまの時代の本願寺教団は、一向一揆の掌握に務める一方、管領の細川家や京の公家衆との関係を深めて、大阪の石山本願寺を拠点として、畿内を中心に最盛期を迎えていました。

しかし、永禄11年（1568）に、織田信長と敵対することとなり、元亀元年（1570）交戦状態に入りました。その後、顕如さまはみずから石山本願寺に籠城し、雑賀衆や地方の門徒組織を動員して信長に対抗しました。以来11年にわたって続く抗争は「石山合戦」と呼ばれます。

天正8年（1580）、朝廷に仲介を依頼し、和睦の条件を呑んで、石山本願寺を去り、紀伊（和歌山県）の鷲森別院に移ります。

徳勝寺の門徒もこの時に参陣したため、後に「徳勝寺」という寺号を頂戴しました。

本能寺の変の後、実権を握った豊臣秀吉とも和解し、天正13年（1585）に摂津中島に天満本願寺を建立し、さらに天正19年（1591）、秀吉から現在の七条堀川の寺地を与えられ、京都に本願寺を再興しました。

文禄元年11月24日（1593年12月27日）、顕如さまは、50歳でお亡くなりになりました。

顕如さま亡きあと、石山本願寺退去時の対応をめぐって、顕如さまと意見の食い違いがあった強硬派の長男・教如さまに代わって、和睦派の三男・准如さまが本願寺12世宗主とされます。

その後、徳川家康から教如さまに寺地が寄進され、慶長7年（1602）、独立して東本願寺が建立されます。これによって本願寺は、東西二つに分かれて、今に至っています。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

早山保育園

Tel 0877 (49) 0851 Fax 0877 (85) 5854

浄土真宗本願寺派

醍醐山 徳勝寺
願傾院

<http://www.daigo.or.jp/>

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だ い ご
(醍 醐)

Tel & Fax 0879 (43) 5772

平成 24 (2012) 年 9月

8月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

10月

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1 旧 7/15 先負 旧盆・震災記念日
2 旧 7/16 仏滅	3 旧 7/17 大安	4 旧 7/18 赤口 仏教婦人会	5 旧 7/19 先勝	6 旧 7/20 友引	7 旧 7/21 先負	8 旧 7/22 仏滅 住如上人忌 仏教社年会
9 旧 7/23 大安 ふるさと探訪	10 旧 7/24 赤口 二百十日	11 旧 7/25 先勝	12 旧 7/26 友引	13 旧 7/27 先負	14 旧 7/28 仏滅	15 旧 7/29 大安
16 旧 8/1 友引 親鸞聖人月命日	17 旧 8/2 先負 敬老の日	18 旧 8/3 仏滅	19 旧 8/4 大安 彼岸入り・証如上人忌	20 旧 8/5 赤口	21 旧 8/6 先勝 秋季永代経・彼岸会	22 旧 8/7 友引 秋分の日
23 旧 8/8 先負	24 旧 8/9 仏滅	25 旧 8/10 大安 彼岸明け	26 旧 8/11 赤口 仏教講座	27 旧 8/12 先勝	28 旧 8/13 友引	29 旧 8/14 先負
30 旧 8/15 仏滅 中秋の名月						

門前の石碑読みつゝ萩の寺

田中清美

准如上人 (本願寺第12世)

准如さまは、天正5年7月9日(1577年8月3日) 顕如さまの3男としてご誕生になります。顕如さまがお亡くなりになると、文禄2年(1593)、准如さまが本願寺を継承されます。

慶長3年(1598) 豊臣秀吉が没すると、実権を握った徳川家康は戦に協力した顕如さまのご長男・教如さまを宗主にしようと思論見ます。しかし、三河の一向一揆で窮地に陥られた経緯があり、重臣の「本願寺の対立はこのままにして、教如を支援して勢力を二分した方がよい」との提案を採用し、本願寺の分立を企図します。慶長7年(1602)、家康は教如さまに七条烏丸に寺地を寄進され、東本願寺が分立することになります。

慶長13年(1608)、大坂に「津村御坊」を、元和3年(1617)、江戸に「江戸浅草御坊」を建立して教団の拡大に努められました。寛永7年11月30日(1631年1月2日)、54歳でお亡くなりになりました。

江戸時代の本願寺は安定しており、第13世良如さま、第14世寂如さま、第15世住如さま、第16世湛如さまと次第に継承されてます。

法如上人 (本願寺第17世)

第16世湛如さまが急逝され、猶子がなく、亀山(姫路市)の本徳寺にお生まれになり、河内(八尾市) 顕証寺をお継ぎになっていた法如さまが本願寺第17世をお継ぎになります。

法如さまは、83歳でお亡くなりになるまで、明和の宗論と呼ばれる教義上の問題を解決したり、阿弥陀堂を再建なさるなど、ご活躍されましたが、寛政元年(1789年10月24日)お亡くなりになりました。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

早山保育園

Tel 0877 (49) 0851 Fax 0877 (85) 5854

浄土真宗本願寺派

醍醐山 徳勝寺
願傾院

<http://www.daigo.or.jp/>

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だ い ご
(醍 醐)

Tel & Fax 0879 (43) 5772

平成 24 (2012) 年 10月

9月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	1	2	3	4	5	6

11月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1

日	月	火	水	木	金	土
30	1 旧 8/16 大安	2 旧 8/17 赤口 広如上人忌 仏教婦人会	3 旧 8/18 先勝	4 旧 8/19 友引	5 旧 8/20 先負 鏡如上人忌	6 旧 8/21 仏滅
7 旧 8/22 大安	8 旧 8/23 赤口 体育の日・寒露	9 旧 8/24 先勝	10 旧 8/25 友引	11 旧 8/26 先負	12 旧 8/27 仏滅 亀山天皇忌	13 旧 8/28 大安 仏教社年会
14 旧 8/29 赤口 ふるさと探訪	15 旧 9/1 先負 龍谷会 (大谷本廟)	16 旧 9/2 仏滅 親鸞聖人月命日	17 旧 9/3 大安	18 旧 9/4 赤口 良如上人忌	19 旧 9/5 先勝	20 旧 9/6 友引 皇后誕生日
21 旧 9/7 先負	22 旧 9/8 仏滅	23 旧 9/9 大安 霜降	24 旧 9/10 赤口 仏教講座	25 旧 9/11 先勝	26 旧 9/12 友引	27 旧 9/13 先負 十三夜
28 旧 9/14 仏滅	29 旧 9/15 大安	30 旧 9/16 赤口	31 旧 9/17 先勝	1	2	3

里山に風にふれ合う蕎麦の花
松下正清

文如上人(本願寺第18世)
 文如さまは、法如さまのご長男として、延享元年(1764)4月19日にお生まれになります。文如さまは、新門時代から、学芸にご造詣がふかく、とりわけ茶道を嗜まれておりました。本願寺はかねてから藪内流との関係がふかく、現在、国宝となっている飛雲閣に茶室「憶昔亭」を増築したのも、文如さまでした。また、「悠々子」の雅号で、詩歌・書などに才覚をあらわし、ことにお勤めがお上手であったと伝えられています。
 寛政11年(1799)6月4日、56歳でお亡くなりになりました。

本如上人(本願寺第19世)
 本如さまは、文如さまのご次男として安永7年(1778)にお生まれになります。お兄さまが早逝されましたので、寛政11年(1799)、22歳で本願寺を継職されました。
 当時の本願寺では、「たすけたまえ」と自らお願いすると誤解する「三業惑乱」という教義上の問題でもめておりました。
 文化3年(1806)、本如さまは、『御裁断御書』をお書きになって、わたしたちがお称えるお念仏は、阿弥陀さまにお助けいただいていることを喜ぶお念仏なのだ、教義を明確にしてくださいました。また、このような問題が起る原因となった能化職を廃して、現在のような勸学職を置くことになりました。
 その後、文化8年(1821)に親鸞聖人五五〇回大遠忌法要を執行し、あわせて大規模な御影堂の修復を行います。
 文政9年12月12日(1827年1月9日)、50歳のご生涯を閉じられました。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園
Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

早山保育園
Tel 0877 (49) 0851 Fax 0877 (85) 5854

浄土真宗本願寺派

醍醐山 徳勝寺
願傾院
http://www.daigo.or.jp/
Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だ い ご
(醍 醐)
Tel & Fax 0879 (43) 5772

平成 24 (2012) 年 11月

10月

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

12月

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1 旧 9/18 友引	2 旧 9/19 先負	3 旧 9/20 仏滅 文化の日
4 旧 9/21 大安	5 旧 9/22 赤口	6 旧 9/23 先勝 仏教婦人会	7 旧 9/24 友引	8 旧 9/25 先負	9 旧 9/26 仏滅 全国火災予防運動	10 旧 9/27 大安 仏教社年会
11 旧 9/28 赤口 ふるさと探訪	12 旧 9/29 先勝	13 旧 9/30 友引	14 旧 10/1 仏滅	15 旧 10/2 大安 七五三	16 旧 10/3 赤口 親鸞聖人月命日	17 旧 10/4 先勝 巧如上人忌
18 旧 10/5 友引	19 旧 10/6 先負	20 旧 10/7 仏滅	21 旧 10/8 大安	22 旧 10/9 赤口 小雪	23 旧 10/10 先勝 勤労感謝の日	24 旧 10/11 友引
25 旧 10/12 先負	26 旧 10/13 仏滅	27 旧 10/14 大安	28 旧 10/15 赤口 仏教講座	29 旧 10/16 先勝	30 旧 10/17 友引	1

咲きそめて小風に土掃く萩小枝
筑後紫水

広如上人 (本願寺第20世)

広如さまは、寛政10年(1798)、河内(八尾市) 顕証寺の近松暉宣の次子として生まれ、一旦は顕証寺住職に就任されました。しかし、暉宣のお兄さまであった第19世本如さまのご養子となり、文政9年(1823)に本願寺第20世を継職されました。

お子さまが早世されましたので、顕証寺から甥の徳如さまをお迎えになりますが、継職前にお亡くなりになりました。徳如さまをお迎えした後に、明如さまがご誕生になり、一時期、3門跡がお揃いになったことがありました。

広如さまの時代は、明治維新に指しかかる時期で、それまでもご縁の深かった朝廷との関係もあり、尊皇のご意志が強く、元治元年(1861)には、本願寺の寺号を賜った亀山天皇陵を修復なさったり、勤皇派の月性を取り立てたりしました。そのため本願寺に新選組の屯所が置かれることとなりました。

明治4年(1871年)10月3日、74歳で、明治維新をご覧になってお亡くなりになりました。

明如上人 (本願寺第21世)

明如さまは、広如さまの第5子としてお生まれになり、明治4年(1872)に法主を継職なさいます。

大変革の時代でもあり、有能な僧侶を海外留学させ、政府に先んじて議會を開設したり、学林を改革して龍谷大学を創設しました。また、西欧で盛んであったチャプレン制度を採り入れ、従軍僧や刑務所の教誨師制度などを創ったり、学校や幼稚園・保育園などの開設に積極的に取り組まれました。

明治36年(1903) 1月18日、54歳でご逝去になりました。

<p>社会福祉法人 醍醐福祉会</p> <p>石田保育園</p> <p>Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053</p> <p>早山保育園</p> <p>Tel 0877 (49) 0851 Fax 0877 (85) 5854</p>	<p>浄土真宗本願寺派</p> <p>醍醐山 徳勝寺 願傾院</p> <p>http://www.daigo.or.jp/</p> <p>Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008</p>	<p>徳勝寺門信徒会館</p> <p>だ い ご (醍 醐)</p> <p>Tel & Fax 0879 (43) 5772</p>
---	--	--

平成 24 (2012) 年 12月

11月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1

平成25年1月

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1 <small>旧10/18 先負 御正忌報恩講</small>
2 <small>旧10/19 仏滅 御正忌報恩講</small>	3 <small>旧10/20 大安</small>	4 <small>旧10/21 赤口</small>	5 <small>旧10/22 先勝</small>	6 <small>旧10/23 友引</small>	7 <small>旧10/24 先負 大雪</small>	8 <small>旧10/25 仏滅 成道会</small>
9 <small>旧10/26 大安 ふるさと探訪</small>	10 <small>旧10/27 赤口 法如上人忌</small>	11 <small>旧10/28 先勝</small>	12 <small>旧10/29 友引</small>	13 <small>旧11/1 大安</small>	14 <small>旧11/2 赤口</small>	15 <small>旧11/3 先勝</small>
16 <small>旧11/4 友引 親鸞聖人月命日</small>	17 <small>旧11/5 先負</small>	18 <small>旧11/6 仏滅</small>	19 <small>旧11/7 大安</small>	20 <small>旧11/8 赤口</small>	21 <small>旧11/9 先勝 冬至</small>	22 <small>旧11/10 友引</small>
23 <small>旧11/11 先負 天皇誕生日</small>	24 <small>旧11/12 仏滅 振替休日</small>	25 <small>旧11/13 大安</small>	26 <small>旧11/14 赤口 仏教講座</small>	27 <small>旧11/15 先勝 顕如上人忌</small>	28 <small>旧11/16 友引 御用納め</small>	29 <small>旧11/17 先負</small>
30 <small>旧11/18 仏滅</small>	31 <small>旧11/19 大安 大晦日 除夜会</small>	<p>鏡如上人（本願寺第22世）</p> <p>鏡如さまは、明如さまのご長男として、明治9年（1876）12月27日にお生まれになります。鏡如さまは、本願寺以外でもご活躍になることが多く、大谷光瑞さまとして知られます。明治31年（1898）、九条籌子さまとご結婚されたので、大正天皇の義理の兄になります。</p> <p>明治19年（1886）9歳でお得度になりますが、学習院とは合わず退学し、前田慧雲について学ばれました。また、新門として、中国・ヨーロッパに渡り、海外の宗教事情を視察します。</p> <p>明治35年（1902）、仏教がインドから中国に伝わった経路を研究するため、大谷探検隊を編成しシルクロードを踏破します。その成果は、それまで明らかでなかった靈鷲山の特定や、数々の仏教研究の資料などを収集します。しかし、その途中、明治36年（1903）に明如さまがお亡くなりになり、京都にお戻りになり本願寺第22世をお継ぎになります。</p> <p>その後も中央アジア探検は、大正3年（1914）まで計3回にわたって続けられました。その他にも、伊藤忠太設計の築地本願寺の建立などに代表される新しい本願寺の創設や、学事の興隆、人材の育成などに深い識見を発揮なさいます。しかし、巨額の負債整理と、疑獄事件の責をとり、同年ご隠居になります。ご隠居後も、幅広いご活躍をなさいましたが、昭和23年（1948）10月5日、大分県別府で73歳の生涯をお閉じになりました。</p> <p>その後は、甥の勝如（大谷光勝）さまが本願寺第23世をお継ぎになり、さらに昭和53年（1977）現在の即如（大谷光真）さまに引き継がれ、現在に至ります。</p>				

荒掘りの菩薩の笑や暖き
佐々木嘉清

鏡如上人（本願寺第22世）

鏡如さまは、明如さまのご長男として、明治9年（1876）12月27日にお生まれになります。鏡如さまは、本願寺以外でもご活躍になることが多く、大谷光瑞さまとして知られます。明治31年（1898）、九条籌子さまとご結婚されたので、大正天皇の義理の兄になります。

明治19年（1886）9歳でお得度になりますが、学習院とは合わず退学し、前田慧雲について学ばれました。また、新門として、中国・ヨーロッパに渡り、海外の宗教事情を視察します。

明治35年（1902）、仏教がインドから中国に伝わった経路を研究するため、大谷探検隊を編成しシルクロードを踏破します。その成果は、それまで明らかでなかった靈鷲山の特定や、数々の仏教研究の資料などを収集します。しかし、その途中、明治36年（1903）に明如さまがお亡くなりになり、京都にお戻りになり本願寺第22世をお継ぎになります。

その後も中央アジア探検は、大正3年（1914）まで計3回にわたって続けられました。その他にも、伊藤忠太設計の築地本願寺の建立などに代表される新しい本願寺の創設や、学事の興隆、人材の育成などに深い識見を発揮なさいます。しかし、巨額の負債整理と、疑獄事件の責をとり、同年ご隠居になります。ご隠居後も、幅広いご活躍をなさいましたが、昭和23年（1948）10月5日、大分県別府で73歳の生涯をお閉じになりました。

その後は、甥の勝如（大谷光勝）さまが本願寺第23世をお継ぎになり、さらに昭和53年（1977）現在の即如（大谷光真）さまに引き継がれ、現在に至ります。

<p>社会福祉法人 醍醐福祉会</p> <p>石田保育園</p> <p>Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053</p> <p>早山保育園</p> <p>Tel 0877 (49) 0851 Fax 0877 (85) 5854</p>	<p>浄土真宗本願寺派</p> <p>醍醐山 徳勝寺 願傾院</p> <p>http://www.daigo.or.jp/</p> <p>Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008</p>	<p>徳勝寺門信徒会館</p> <p>だ い ご (醍 醐)</p> <p>Tel & Fax 0879 (43) 5772</p>
---	--	--